



将来の夢考えるきっかけに 8/8～10

将来の職業選択に役立ててもらおうと高校生インターンシップが市立御前崎総合病院で実施され、池新田高校2年生6人が看護業務を体験しました。参加者は「看護師がずっと動き回っていて大変そうだった」、「コミュニケーションをとるのが大事だと感じた」と体験を振り返り、進路を考えるきっかけとなりました。

◀現役看護師と一緒に患者さんと話をする生徒



懐かしの軽便鉄道展を開催 ～8/19

軽便鉄道研究会主催の「写真と映像で楽しむ軽便鉄道すんえん遠線」が市立図書館アスパルで開催されました。昭和45年の廃止まで親しまれた軽便鉄道ひなを広く知ってもらおうと企画されたもの。増田妃菜さん(大山)、鈴木未来さん(同)は「ここを走っていたと知らなかった。生活を支えていたことが分かった」と話しました。

◀興味深そうに展示を見る増田さん(右)と鈴木さん(左)



思いやりの心を行動に移す 8/19

浜岡中学校の生徒とコミカレねっとわーく御前崎の会、明るい社会づくり運動御前崎地区協議会の会員ら60人が、市内のスーパーなど5カ所で大阪府北部地震、平成30年7月豪雨の被災地に対し、募金を呼びかけました。集まった義援金27万9,658円は、市社会福祉協議会を通じて日本赤十字社に寄付されます。

◀生徒らの呼び掛けにより募金に協力する買い物客



ヨット体験で良い風感じる 8/20

御前崎市と牧之原市の小学4年生から中学3年生13人が、御前崎港マリーナで開催されたヨット教室に参加しました。講師の相良高校ヨット部と一緒にヨットに乗りながら、操舵けいたの仕方を学びました。増田肇太さん(薄原区)は「最初は少し怖かったけど、スピードを調整できると楽しかった」と話しました。

◀ヨット部の部員にヨットの操舵を教わる参加者